



# 伊野駅周辺地区まちづくり News VOL. 03

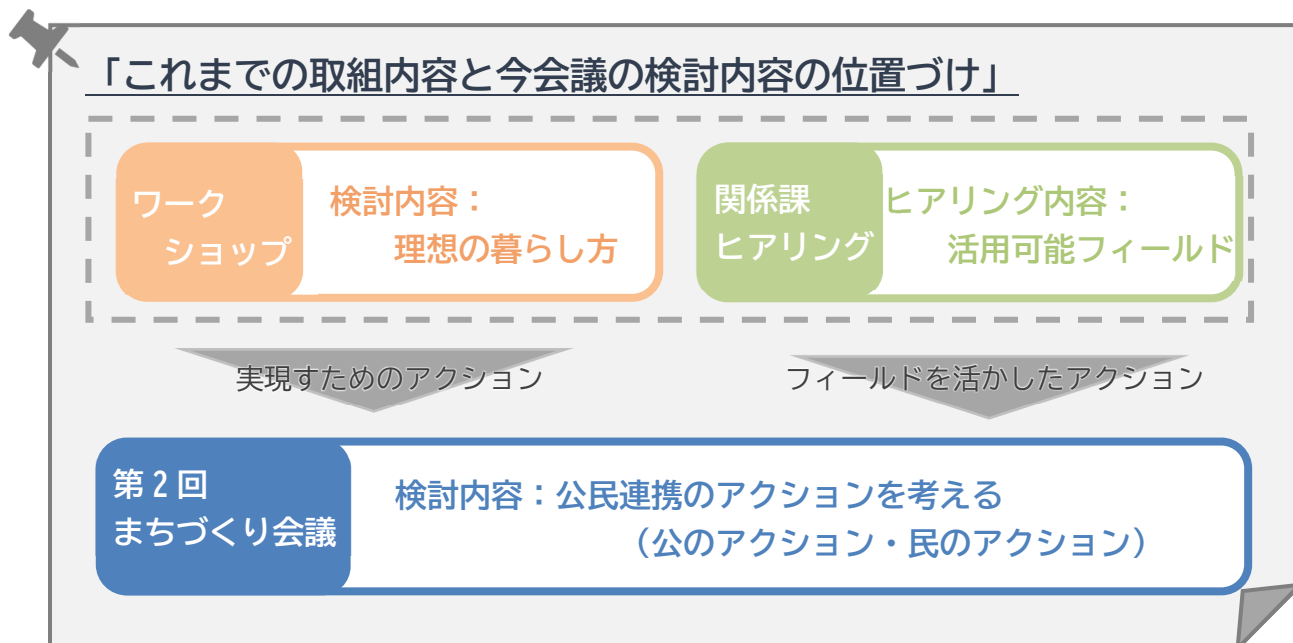
皆様に、まちづくりの進捗状況や今後の予定等についてお知らせするために、「まちづくり News」を作成しています。本号では、第2回まちづくり協議会の開催結果についてご報告します。

## 1 第2回官民連携まちなか再生推進に係るまちづくり協議会の開催概要

2/9に開催した第2回まちづくり協議会ではこれまでの取組として行ったまちづくりワークショップや関係課ヒアリングの結果を基にした検討資料をもとに、公民連携のアクションプランを検討していただきました。

|      |                                                                                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 日時：令和6年2月9日（金）午後15時00分～午後17時30分                                                        |
| 開催場所 | 伊野公民館                                                                                  |
| 議事内容 | ①これまでの取組の経緯<br>②ワークショップの結果概要<br>③まちなか再生の方向性について<br>④公民連携のアクションに関する意見交換<br>⑤その他（イベント広報） |

これまでの取組内容と今会議の検討内容は下記の通りです。



## まちの将来像・基本方針・取組施策（案）

第2回まちづくり協議会で提示したまちの将来像・基本方針・取組施策（案）は下記の通りです。

まちの将来像  
（理想のシーン）

豊かな水・緑・文化・人がつながる“INO LIFE”  
ー水の暮らし、紙の暮らし、巡る暮らしー

### 基本方針

●人・コトが集う安全・安心・快適な拠点づくり

多様な利用者が交流することができる拠点の形成を推進します

●暮らしやすいまちづくり

子育て支援、教育、文化等の各種都市機能の充実を図ります

●地区内外をつなぐまちづくり

いの町の地域資源を活かし、地区内外をつなぐ公共空間の創出を図ります

●チャレンジできる環境づくり

地区内での出店や多様な場での活動などに誰もがチャレンジできる環境づくりに取り組みます

●歴史文化や自然環境をまもり育てるまちづくり

歴史や紙の文化、身近な自然環境、それらがつくるまちの風景をまもり育てる仕組みづくりに取り組みます

### 取組施策(案)【アクション】

| 施策内容                      | 主体        |
|---------------------------|-----------|
| 川・まち・駅、人をつなぐ拠点の形成推進       | 行政        |
| ウォーカブル、サイカブルな環境づくりの推進     |           |
| 公共空間の活用促進に向けた環境づくりの推進     | 行政・<br>民間 |
| 地域資源を活かした川とまちをつなぐ多様な活動の創出 |           |
| リノベーションを促す仕組みづくりの推進       |           |
| いの町らしい暮らしの景観づくりの推進        | 行政        |

第1回まちづくりワークショップでは対象エリア内での「理想の暮らし方（シーン）」を参加者に検討していただき、下記のご意見をいただきました。（※一部当日の結果の資料より抜粋・編集を行っています。）

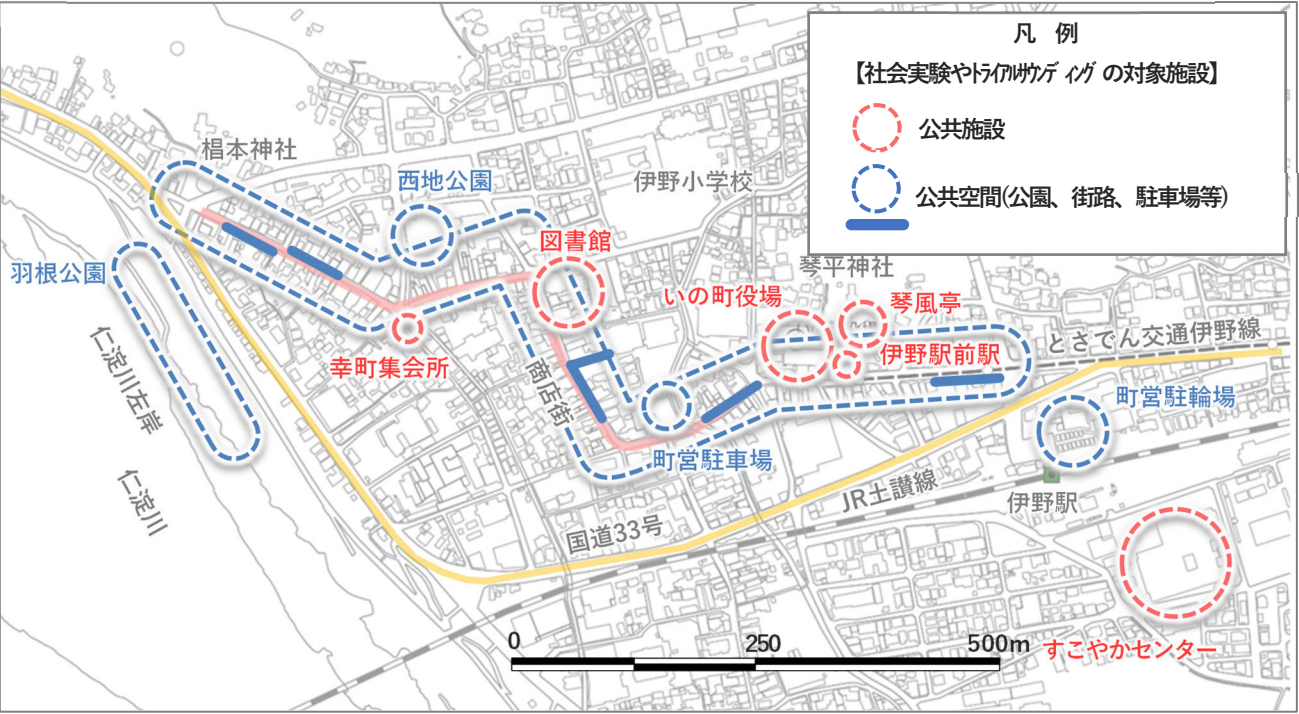
【ワークショップで出された理想の暮らし方（シーン）のとりまとめ】

黒字：町民、緑字：県外・観光客、青字：町民・観光客両方

| 羽根公園～紙の博物館                                  | 梶本神社～商店街～いの町役場                           | JR伊野駅周辺                    |
|---------------------------------------------|------------------------------------------|----------------------------|
| 春になると植樹した桜をみることができる                         | 定期的に「市」、ファーマーズマーケットを楽しめる                 | 駅周辺で買い物、行政手続きや子育て世代が情報交換する |
| 紙博のカフェと書道コーナーで楽しむ                           | 吉井源太生家で町内の方が講師となり、興味のある方が習字などの教室をみんなで楽しむ | 市民農園で野菜をつくる                |
| 子どもたちが動物と触れ合える                              | 図書館の駐車場でのイベントを楽しむ（オンライン、eスポーツ、ミニ四駆等）     | 週に1回、マルシェや町内外のイベントで売る      |
| 50～60代 地域のおいしいものを調達し、持ち込んで食事をする             | いつでも何かしている「まちなか広場」で過ごす                   | 駅前の屋台で飲む                   |
| 50～60代 キャンプやBBQができる                         | 早稲川に床を張った場で過ごす                           | 電車の本数が多く高知市へすぐ帰ることができる     |
| 30～50代 ガレージブランドを主催の人が事業のフィールドテストを兼ねた創作事業を行う | 80代 介護施設の利用者が散歩しながら買い物やごはんを食べる           | 40代 県外、国外の観光客が宿で宿泊する       |
| 20～40代 休日に子どもと遊ぶ                            | 友人と料理店で歓談                                | 一人暮らしが晩飯を食べることができる         |
| 20～40代 空いているスペースを自由に使う                      | 50～60代 屋間からビールを飲みながら競馬予想                 | 図書館で本のイベントに子どもと参加する        |
| 20～40代 スポーツやアウトドア、山や川での活動を介して自然との接点を気軽に持てる  | 裏通りの怪しい空き家をいじって住みたい                      | 自然との適度な距離感で創作活動に励む         |
| 20～40代 キャンプやBBQを楽しむ                         | 40代 いのホールで映画を楽しみ、ライブの会場として使う             | 20～30代 観光しながら宿泊施設で泊まれる     |
| 20～40代 サイクリングロードを走り、町内の居酒屋で飲んで、古民家の宿泊施設へ泊まる | 小学生 バスケットボールなどで楽しむ                       |                            |
| 小学生 定期的開催されるイベントを楽しむ                        | 小学生 広場で遊具の遊びや読書、寝転んだりする                  |                            |

| 地区全体                               |                            |
|------------------------------------|----------------------------|
| 川で魚を釣り、旧街道で飲んで、電車で帰る               | グリーンスローモビリティで地区を巡る         |
| いの町を好きな人が外の人に向けて歴史や由来を楽しく教えている     | 異なる属性の人と情報交換ができる           |
| 50～60代 退職後に家庭菜園を始める                | まち全体が本棚になっており、読書を楽しむことができる |
| 20～30代 サイクリングし、居酒屋で食べて、町内の古民家に宿泊する | 地域の集いやすい場所で地域の情報が得られる      |

また、関係課ヒアリングを踏まえた対象エリア内で活用可能な公共空間のフィールドを下図の通り整理し、第2回まちづくり協議会で公民連携のアクションプランを検討していただきました。



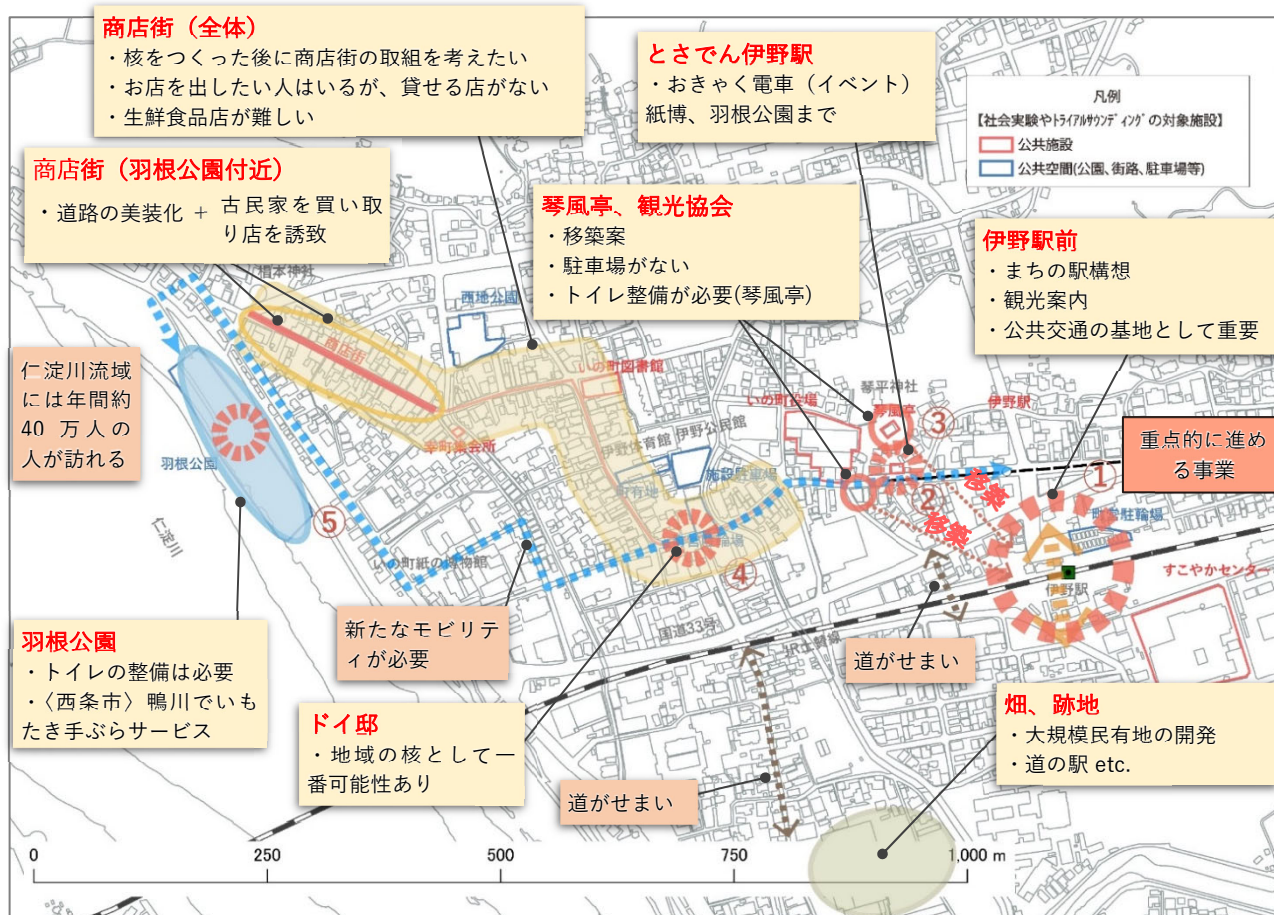
第2回まちづくり協議会では、4つの班に分かれていただき、公民連携のアクションプランを検討していただきました。各班の検討結果の内容は下記の通りです。

(※一部当日の結果の資料より抜粋・編集を行っています。)

## 1 班の検討結果

### ●主な発表内容

- ✓いの町駅周辺については高知市西バイパスや国道・県道も通っており、交通アクセスが良いため、開発を行い「まちの駅」のようなものにしたい。さらには観光協会の参画や他の商業施設を誘致することでいの町の顔、玄関口としての役割になるようにしたい。
- ✓琴風亭はすごく素敵な建物ではあるが、階段で上がるのも大変で車を停められる場所がなく、利用してもらいにくい状況なので移築して駅周辺の施設の一部にしたい
- ✓とさでんで旅客電車を実施し、電車がタイヤを履くことで、紙博を案内し、羽根公園まで遊びに連れて行くような交通機関が出来るといい。
- ✓すべての開発は一度には出来ないので、最初に商工会から大国様までの空き家、空き地を町が買い取ることでいつでもチャレンジショップのように新しいお店を商店街で開くことが出来るような体制を整える。そしてその範囲の道路の美装化、綺麗な石畳にするなど綺麗なエリアを形成する。



## 2班の検討結果

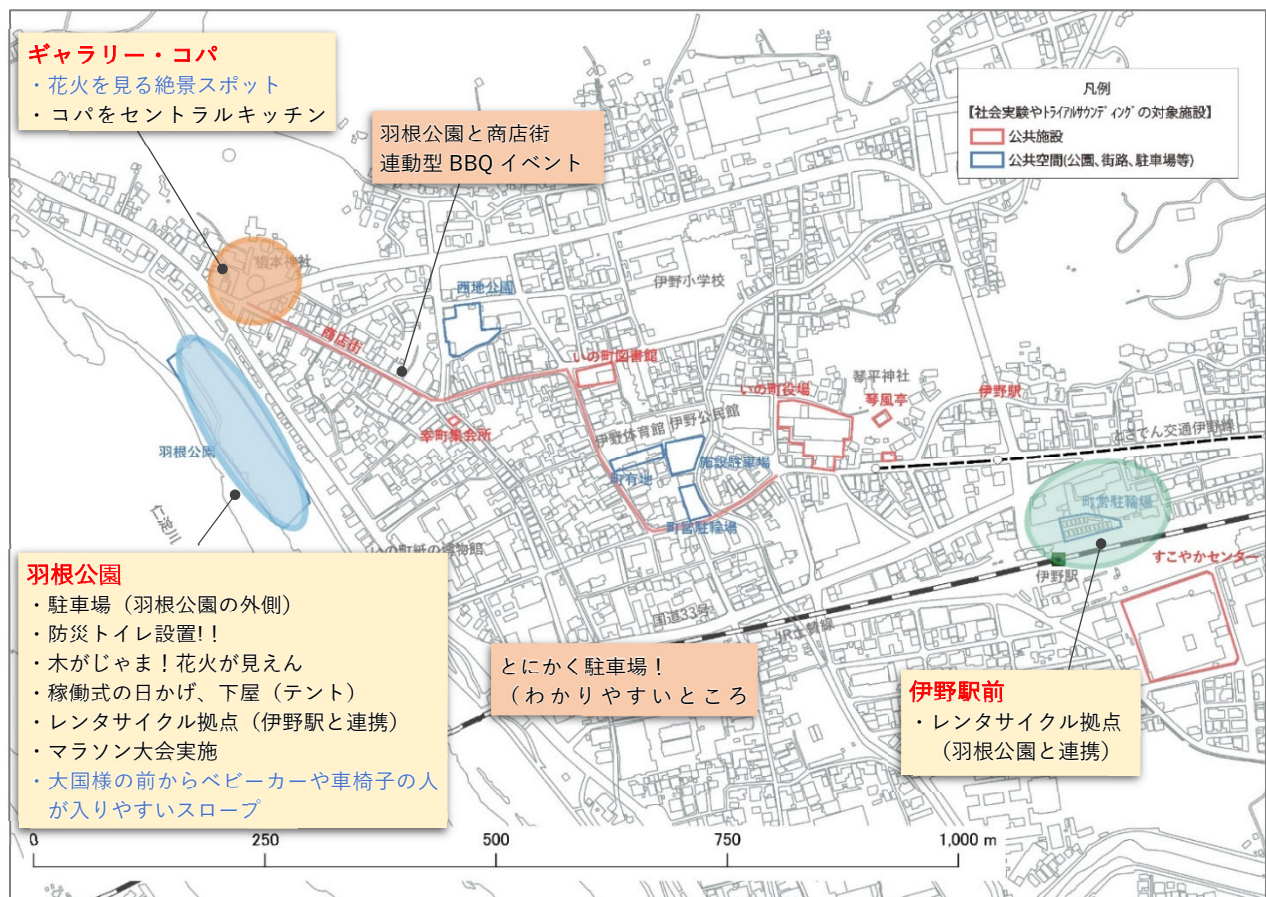
### ●主な発表内容

- ✓ JR いの駅前には駐輪場があるので、北部交通と話して、観光の方や親子連れの方がたくさん来るしまなみ海道のサイクリストの方と連携を図る。コースに仁淀川流域を含めてもらい、連動して一緒にサイクリングツアーなどを実施し、公共交通の起点の場所として展開する社会実験ができないか。
- ✓ 羽根公園について、まず波川公園との違いとしてイベントを多く実施している商店街がすぐ近くにあることである。ただ、商店街でのイベントを大きくしてPRしていきたいというときに、物理的なキャパシティが足りない。そこで羽根公園の一体をより大きく開放していただけたら、イベントや社会実験など出来ることが増えるのではないかなと思う。  
そのため、羽根公園を役場の管理にすることで許可申請のハードルを下げて、実行委員会のイベント主催者の方が使いやすいような場所にする。
- ✓ いの町立図書館については現在利用されていないが場所があるので、雨の日の過ごし方や地域の方や子どもが集まれる場所になるような、図書館の新しい使い方というのを現場の方と話して検討していきたい。  
例えばイベントや e スポーツができる場所などを設け、お喋りできるスペースと静かに過ごすスペースを分けるなど。
- ✓ 実行委員会などでアイディアが出たときに実現可能にするため、羽根公園での提案と同じように、地域のイベントと連動する形のスペースが必要。



## ●主な発表内容

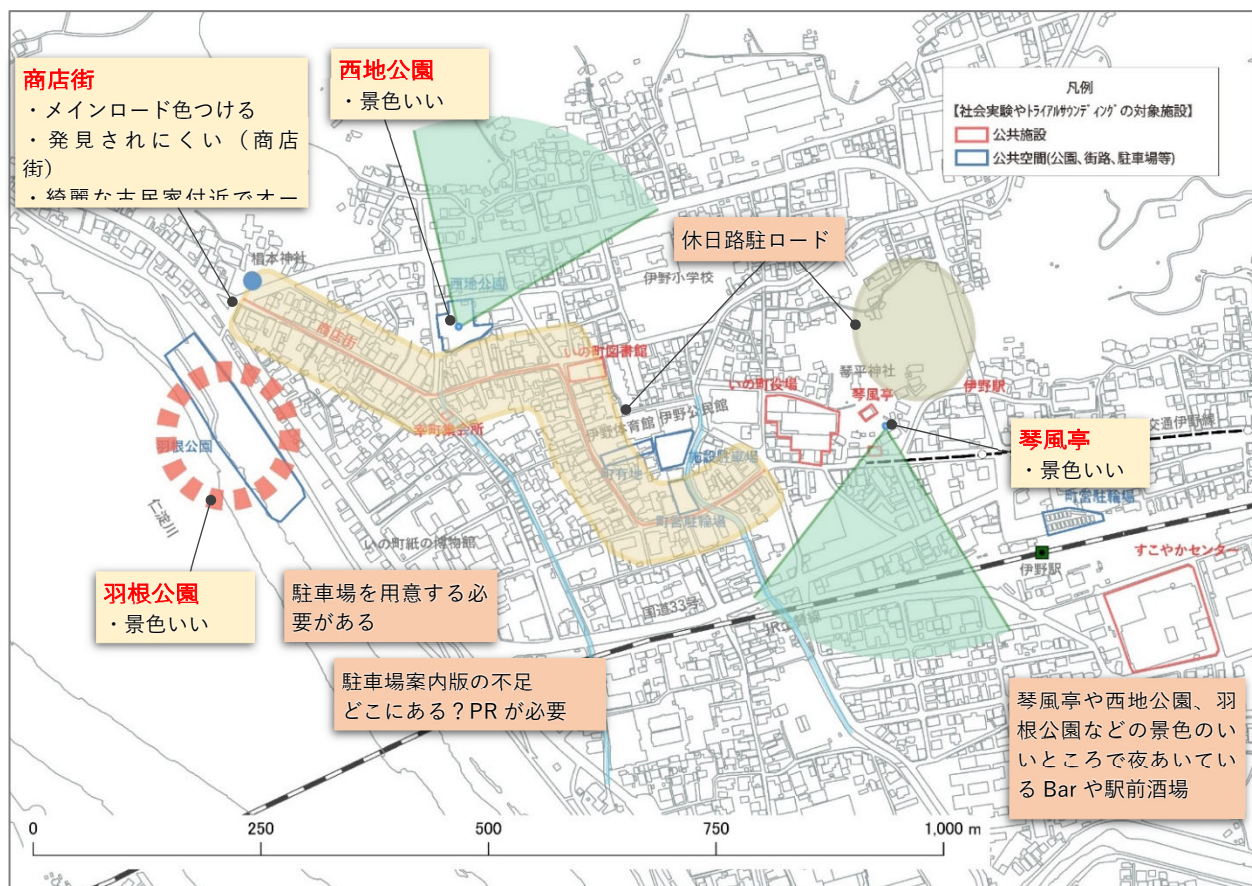
- ✓ 外から来た人がいろんな所を歩いてみたくなる仕掛けとして、わかりやすいところに駐車場が必要。外からでも見てわかるように、羽根公園の外側に整備し、車で通りかかる人に停車してもらい、いの町のエリア内を歩いてもらえるようにしたい。とにかく羽根公園を活かしたいという話になった。また、防災トイレを常設が必要。
- ✓ 公園は夏場だと日陰がないと活用が難しいので可動できる下屋を作りたい。
- ✓ 現在公園に木が生い茂っており、せっかくの景観が活かしきれておらず、夏場は花火も見えなくなってしまうので木を整備したい。そうすることでテントが並んでバーベキューしているの見えるようになる人もさらに集まってくると考える。
- ✓ 商店街も距離があるので羽根公園の土手と駅前にレンタサイクルの拠点を置いて自転車で周遊してもらえるような仕掛けを作りたい。
- ✓ 公園の土手沿いから桜並木までちょうど2kmぐらいで、いの町の作りが運動場のトラックのようになっている。これを活かし、何km走ったというのが分かるよう看板などに標記すれば、外から来た人が健康のためにランニングを出来るようになる。そしてマラソン大会を開催してフランスで開催されているワインマラソンのように給水所変わりにビールを提供するビールマラソンなどのイベントを実施すれば面白いのではないかな。
- ✓ 大国様横のギャラリー・コパをなにか活かしたい。コパの屋上が花火を見る絶景スポットなのでそこを活かすか、コパをセントラルキッチンにして様々な方がここで調理をして商品を開発するなどが出来たらいい。
- ✓ 通りの多い街道沿いの薄暗い空き家は整備をして、さらにトイレを作るなどをすればいいかと思う。
- ✓ ベビーカーや車椅子の方も羽根公園に入りやすいように大国様の前から入りやすいスロープが必要。



## 4班の検討結果

### ●主な発表内容

- ✓商店街について、まず認知してもらうために商店街のコンクリートや道の色を変えるなど、ここを歩いたらいいというような印をつけて商店街があるという認知をして貰う必要がある。
- ✓いの町内には車で来られる方がほとんどだと思うが、駐車場がない。大国様や羽根公園のあたりについては波川公園の下に停めるような駐車場があるが、場所が分かりにくいので情報発信も含めて整備をする必要がある。
- ✓休日路駐ロードなど、商店街に路駐も現在みられるので、ここで停めていいというような箇所を何ポイントか作り、情報発信する。
- ✓「UKIKI COFFEE STAND」の前でオープンテラスをつけるという話があったが、個人的には店の前ではなく、少し外れたところで実施していただければと思う。店の前はテイクアウトのお客様が目の前に停めていかれることが多いというのと、近くに綺麗な古民家があるのでそのあたりにテラスがある方がいいと思った。
- ✓琴風亭や西地公園、羽根公園で景色がいいところで、バーや駅前酒場があればいいという意見が出された。



## 4 アドバイザー、会長の意見

アドバイザー、まちづくり協議会会長からいただいた主な意見は以下の通りです。

### ●青木氏

- ✓全部を実施するのは難しく、コストをかけての実施は現実的ではないので、まず行政による許可申請をしやすくすることが大事である。誰もがトライしやすい環境をつくることが大事。
- ✓羽根公園についてたくさんの意見が出された。ポテンシャルはあるが、行きにくく、過ごしづらいのが現状である。そのため、イベント仕掛けるのではなく、皆さんが日常的に羽根公園に足を運び、その場に会話も生まれ地域のつながりも感じる事ができ、水を身近に感じられる場にすることが大事。そのような町のだからこそのライフスタイルの発信をできると、まちづくりの目標である新たな関係人口・移住人口を増やすことができ、選ばれるまちになると考える。
- ✓国の交付金をとるにしても、これからの社会は人口が減少していくので限界があると思うので、もう少し財源を増やしていくことに向き合う必要がある。

### ●宋先生

- ✓皆さんの意見を聞いて、羽根公園を日常的に使いやすくする必要があるということは同感である。そのため、駐車場を利用してもらえるように工夫をすることが大事である。
- ✓商店街は蛇行しているため、ギャラリー・コパや図書館、空き家などを上手く活用し、辻のようなポイントとなる箇所をつくることで歩きやすくなる。
- ✓図書館はとても立派で中も綺麗だが、多くの人に利用はされていない。立地状況も踏まえ、様々な使い方をするなどこれからの図書館のあり方を議論する必要がある。
- ✓駐車場は認知度が低いので、問題は何かを踏まえた上で最適な対策をとるべきである。4 班の休日路駐ロードなどの意見のように、簡易的に Shared ストリートにするという考え方もある。あまり車が入らない道として車通りを止めて、お店の目の前に駐車できるようにし、さらにはなるべく長く滞在できるような手法・工夫を行えばよい。

### ●渡辺会長

- ✓足りないものという話ではなく今のいの町に活かせるヒントがある。例えば羽根公園はまちに近いという特徴があり、そこならではの状況をプラスに引き込むことが大事である。2 班で出された意見のようにイベントを行う商店街と連動すれば羽根公園も活かしていける。
- ✓図書館については、新しいことをモデルにしても仕方がないと思う。
- ✓ウォーカブルなまちに向けて、商店街とのつながりなどのポテンシャルを丁寧に読み取り、図書館を楽しむまちなかのひとつとして位置づけることができればお金をかけずとも十分何かができると思う。私自身も今後尽力できたらと感じている。

## 5 今後の取り組み予定

今後の予定は第2回まちづくり会議で出された意見を踏まえ、まちづくり協議会が関わる公民連携プロジェクトの内容について、第3回まちづくり協議会にて検討を行います。

|      |          |                                                 |
|------|----------|-------------------------------------------------|
| R5年度 | 検討<br>段階 | 第3回まちづくり協議会(公民連携のまちづくりプロジェクトの検討)                |
| R6年度 | 施行<br>段階 | 社会実験、トライアルサウンディングの実施、未来ビジョン策定<br>エリアプラットフォームの設立 |

問い合わせ先：いの町 土木課（担当：岡林・西森） TEL：088-893-1116  
FAX：088-893-1440